

受検番号	氏名

一 次は、宿泊学習はくに参加した生徒の作文です。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この海はどこまで続いているのだろう。ゴバルトブルーゴバルトブルーの海が、夏の日ざしを受けてまぶしい。

「ソーレ、ソーレ。」

船長のかけ声に合わせてカイをこぐ。

今日は、「日本海青少年自然の家」での宿泊学習はくだ。朝、バスで学校を出発した。現地げんに到着後、少し早い昼食をすませると、いよいよカッターボートの訓練aだ。訓練をハジめる前に、船長から話があった。その中で、

「訓練が終わるころ、カッターボートを動かすのに一番大切なことがわかると思います。それは、きっと人生において大切なことだと思えます。」

と話された。

「カイ、たてー。カイ、ようい。」

船長のかけ声でこぎ出した。カイを海に入れる角度やタイミングにずれがあるのか、なかなか思うように進まない。出発しゅつぱんした岸がずいぶん小さくなったころ、

「カイ、やめー。」

船長から声がかかった。カッターボートはゆっくりと止まった。

カッターボートにあたる波の音が心地よい。静しずかだ。あせばんだ体を風がなでていく。カッターボートの先頭でカイをこいでいた班長はんが言った。

「かけ声に合わせて、力いっぱいこごうよ。みんなのカイが同じ動きをしたとき、すぐくカッターボートが進んだよ。」

ぼくもそう思った。

「カイ、ようい。」

船長の声がかかる。出発だ。

「ソーレ、ソーレ。」

かけ声に合わせてカイをこぐ。ぼくらの気持ちをひとつにして、カイの動きをそろえる。その力がそのままカッターボートにツタaわっていく。カッターボートはぐんぐん進む。ぼくらは、青い海をどこまでもどこまでもいbで行けるような気がしてきた。

＊【点線部のことばの意味】

- ・「ゴバルトブルー」↓強く明るい青色
- ・「カッターボート」↓大型の手こぎボート
- ・「カイ」↓カッターボートを人の力でこいで進めるためのぼう状じょうの道具。オールのこと。

1 文中の——部①から④の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に改め、() () に書きなさい。

- ① 訓練 () ② くんれん () ③ ハジめる () ④ 始 () める ()
- ⑤ 静かだ () しず () こだ ⑥ ツタわって () ⑦ 伝 () わって ()

2 文中の——部①は、どこを指しますか。文中の()をぬき出して()に書きなさい。

日本海青少年自然の家

3 文中の——部②の「一番大切なこと」とは何ですか。筆者の考えに最もあてはまるものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を()に書きなさい。

- ア 一人ひとりが全力で、それぞれのリズムでこぐこと。
イ 船長のかげ声を気にせず、できるだけ速くこぐこと。
ウ カイを海に入れる角度やタイミングがずれていても、みんなががんばること。
エ かけ声に合わせ、みんなが気持ちをひとつにして、カイの動きをそろえること。

エ

4 文中の——部③という表現から、どういふことがわかりますか。「岸」を使い、()に書きなさい。

出発した岸からずいぶん遠くまで来た(遠く離れた、距離が長くなった)こと

5 文中の——部④は、筆者の気持ちを表しています。筆者の気持ちとしてあてはまらないものを次のアからウの中から一つ選び、その記号を()に書きなさい。

- ア 先が見えなくて心配な気持ち イ 満ち足りた気持ち ウ 心地よい気持ち

ア

二 次は、食事作りについて書かれた文章です。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あなたは、家族のために食事を作ったことがありますか。

食事を作るということは、生きて行くために^①非常に大切な作業です。□②、わたしたちは、食事をとらないと生きて行くことができないからです。

他にも、^③食事作りは、わたしたちに様々な^④効果をあたえます。

食材や調味料を調達し、調理していく工程では、手順書を正しく読み取る力や数学的な力が必要です。つまり、「食事を作る」ことで、生活に根差した国語（読み書き）や数学（数量、計量、お金、時間など）の学習が生かされるのです。

さらに、食事作りには、火や熱、包丁などの^⑤危険なものや道具をあつかう必要があります。けがをしないように安全に気を付け、調理することは、集中力を高めて手指を使う力を高めることにもなります。

まずは、自分の力に^⑥応じて、調味料の計量や食材の下ごしらえなど、できることからはじめてみませんか。家族のために何か一品、食事を作り、食べてもらい喜んでもらうことで、家族に守られていた自分から、家族の役に立つ自分へと立場や意識が^⑦変化していくことでしょう。その変化こそが、主体的に生きる自立した自分作りへの第一歩となるのです。

1 文中の——部①と同じ意味のことを次のアからウの中から一つ選び、記号で□に書きなさい。

- ア とても イ わずかに ウ ついに

ア

2 文中の□②に最もあてはまることを次のアからウの中から一つ選び、記号を□に書きなさい。

- ア しかし イ または ウ なぜなら

ウ

3 文中の——部③と同じ意味のことを文中から漢字二字でぬき出し、□に書きなさい。

調理

4 文中の——部④の反対の意味のことを文中から漢字二字でぬき出し、□に書きなさい。

安全

5 文中の——部⑤の「変化」とはどのようなものですか。文中からぬき出し、それぞれ十一文字と九字で□□に書きなさい。

家	家
族	族
の	に
役	守
に	ら
立	れ
っ	て
自	い
分	た
へ	自
	分
	から

三 次は、職場実習について要点をまとめたものです。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1 実習の目的…実際の職場で働くことの体験を通して、働くとはどういうことを学ぶ。

2 実習で取り組むこと…あいさつをしつかりする。

返事は大きな声です。

指示された内容はしつかり聞く。

わからないことはたずねる。

ことばづかいに気を付ける。

素直な態度で意欲的に働く。

*これらのことは、ふだんの学校生活で取り組んでいること。もし、できていない場合は、直すこと。

3 実習で学ぶこと

① 職場の人から学ぶ…作業の仕方。時間の使い方。話し方。働くことの意味。社会に果たす役割。

② 学校とのちがいを知る…休み時間の回数。仕事時の態度。

③ 働くとはどういうことかを学ぶ…自分の仕事に責任をもつこと。

しんどくても最後までがんばること。

職場の人と協力すること。

自分の仕事(ア)の役に立っていること。

④ 自分の長所と短所を見つける。

4 実習の振り返り…うまくできなかったことがあっても落ちこまず、この経験を次に生かす。

ほめられたことを整理して、自分のよいところと課題を(イ)する。

1 職場実習の目的は何ですか。文中から十四字でぬき出して書きなさい。(句読点は字数にふくまない)

働	く	と	は	ど	う	い	う	こ	と	か	を	学	ぶ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2 次の文は、実習に取り組む姿勢を書いたものです。取り組む姿勢として正しいものには○を、正しくないものには×を()に書きなさい。

() × () 指示された内容がわからなくてもたずねず、がんばる。

() × () 実習は体験することに意味があるので、任されたことは責任をもたなくてもよい。

() ○ () 実習で失敗することもあるが、その経験を生かして次に役立てることが大切である。

() × () 実習先でことばづかいに気を付けていれば、学校生活では気にしなくてよい。

() ○ () 大きな声で返事をし、素直な態度で働く。

3 文中の(㉔)にあてはまることばを次のアからウの中から一つ選び、記号で()に書きなさい。

- ア 実習 イ 社会 ウ 体験

イ

4 文中の(㉕)にあてはまることばを次のアからウの中から一つ選び、記号で()に書きなさい。

- ア 実行 イ 解決 ウ 発見

ウ

四 次の1から6のことばについて、反対の意味をもつことばを()から選び、漢字で()に書きなさい。

1 出席 欠席

欠席

2 直線 曲線

曲線

3 不安 安心

安心

4 不利 有利

有利

5 着席 起立

起立

6 天然 人工

人工

きりつ けっせき ゆうり きよくせん あんしん じんこう

五 次の()にあてはまる字を「不・無・未」から一つ選び、漢字で書いてことばを完成させなさい。

1 無 関心

無

2 未 完成

未

3 不 自然

不

4 無 意味

無

5 不 思議

不

〔六〕 次の文を読み、() 中の使い方が正しいことばに○をつけなさい。

1 緊張した()の()に()の()で()の()で()声が入るえた。

2 今週の目標()は()を()漢字を覚えることだ。

3 今日、図書館に行った()けれど()から()休館日だった。

4 この本をおすすめする()の()の()は()ラストシーンが感動的だからだ。

〔七〕 次の() ()に最もあてはまることばを下の□から一つ選び、記入例のように――で結びなさい。

(記入例) 星が() ()光る

きらきらと

1 合格して() ()した

2 お茶漬()を() ()食べた

3 木の葉が() ()落ちた

4 せんたく物が() ()かわいた

5 優しいことばに() ()きた

6 客が() ()笑った

きらきらと	どっと	ほっと	はらはらと	ぐっと	からからに
-------	-----	-----	-------	-----	-------